

令和四年度 施政方針

令和四年度を迎えるに当たり、今後の市政運営について、私の考えを御説明申し上げます。

私が平成三十年六月に市長に就任し、市政をお預かりして三年八箇月が経過いたしました。

この間、最大の懸案事項であった新庁舎の建設場所について、市議会の御理解の下、いち早く方向性を示すことができ、第五次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」に掲げる新庁舎建設事業をはじめとした諸施策を、市議会や市民の皆様と一体となり、着実に進めることができていることに対しまして、心から感謝申し上げます。

こうした中、年明け以降、若年層を中心に想定を超えるスピードで新型コロナウイルス感染症が急拡大したことから、一月二十六日から二十八日まで全市立小学校を一斉臨時休業とするなど、子どもの安全・安心を第一に必要な措置を講じてまいりました。

現在実施しております三回目のワクチン接種につきましては、順調に進んでおり、これに加え、五歳から十一歳までの子どもを対象とするワクチン接種につきましても、国・県及び医師会・歯科医師会・薬剤師会の方々の御協力の下、しっかりと取り組むこととしております。

また、安全・安心の拠点となる新庁舎につきましては、いよいよ本館棟及び福祉棟の建設工事に着手いたします。

このような中、県においては、市議会とともに要望いたしました防府警察署の市役所敷地への移転に関連する予算や、新庁舎の福祉棟に移転する予定の山口健康福祉セ

ンター防府支所を山口健康福祉センター防府保健所に改組する議案が山口県議会二月定例会に上程される予定でございます。

本格化する行政ゾーンの形成に向けて、引き続きしっかりと取組を進めてまいります。

また、市民の安全・安心の観点から、防災拠点や医療拠点などを繋ぐ新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」の構築に向けて、佐波川右岸の広域防災広場の用地取得、華城小学校周辺道路の設計や測量、防府北基地東道路の概略設計などを進めてまいります。

さらには、SDGsの理念に沿った「カーボンニュートラルの推進」や時代のニーズに対応する「デジタル化の推進」についても、しっかりと取り組んでいかなければなりません。

このようなことから、令和四年度の当初予算は、防府のまちづくりを着実に推進するため、「輝き！ほうふプラン」に基づく諸施策の実行など、「ほうふの未来をかたちにする予算」として編成しております。

防府の未来を形にするためには、これまで以上に、市議会や市民の皆様と一体となって進めていかなければなりません。

総合計画に掲げた「明るく豊かで健やかな防府」の実現、そして、令和の時代に燦然と輝く「防府のまち」の形成を目指し、施政方針といたします。